

令和6年度事業報告

1 会計監査

4月10日(水)午前10時~12時及び4月15日(月)午前10時~12時、都庁第二本庁舎15階3部共用会議室①を会場として、常任監事及び監事2名による各種帳簿類等の監査を実施した(本会事務局長立合い)。

2 理事会

5月17日(金)都庁第二本庁舎31階特別会議室で対面開催

*出席者22名、欠席者(委任状)12名

3 総会・講演会

6月25日(火)会場参加(全商会館)とオンライン参加を併用したハイブリッド開催

・総会 会場参加者20名、オンライン参加者8名、計28名

・講演会 会場参加者23名、オンライン参加者6名、計29名

演題:「学校現場の課題と企業の貢献」

講師:栗原美津枝氏 株式会社価値総合研究所代表取締役会長

(総会・講演会の報告は会報第166号、会誌第62号に掲載)

4 委員会

(1) 企画推進委員会(第1回) 7月12日(木)都庁第二本庁舎16階 教育委員会室で開催

企画推進委員会(第2回) 11月15日(木)都庁第二本庁舎16階 教育委員会室で開催

企画推進委員会(第3回) 1月17日(木)都庁第二本庁舎16階 教育委員会室で開催

(2) 中学校技術・家庭科教育功労者選考委員会 8月30日(金)都庁第二本庁舎15階15A会議室で開催

(3) 作文選考委員会

全体会 5月24日(金)東京商工会議所で開催

分科会(中学校の部) 10月24日(木)都庁第二本庁舎15階15A会議室で開催

分科会(高等学校・専修学校の部) 10月25日(金)都庁第二本庁舎15階15A会議室で開催

5 振興奨励事業

(1) 教育功労者表彰:11月7日(木)午後3時から全商会館3階中会議室において、御下賜金記念産業教育功労者14名、中学校技術・家庭科教育功労者4名、専修学校・短期大学産業教育功労者1名の表彰式を挙行了。本会より表彰状の授与と記念品の贈呈を行った。

(2) 産業界会員功労者(永年会員)表彰:国光施設工業株式会社、東京商工会議所の2社を表彰した。

(3) 研究団体助成:産業教育関係の教育研究団体に対する奨励助成として、農業、工業、家庭、看護、総合学科、定時制・通信制、中学校技術・家庭科の7研究会に対し、研究資料作成など事業活動費の一部を助成した。

(4) 作文コンクール:中学生、高校生、高専生、専修学校生、短大生に対する作文募集を行い、応募総数は345点であった。その中から最優秀賞2名(中学校1名、高校1名)、優秀賞8名(中学校3名、高校3名、専修学校2名)、佳作42名(中学校23名、高校19名)計52名の入選者を選定した。

表彰式は12月20日(金)に東京商工会議所で開催し、入選者及び「明日に生きる 第35号 一作文コンクール入選作品集」の表紙デザイン作成者に賞状と賞品を授与した。また、作文応募者全員及び表紙デザイン応募者全員に記念品を贈呈した。

入選作品は「明日に生きる 第35号 一作文コンクール入選作品集」として令和7年3月1日に発行した。

(5) 優良卒業生選奨:優良卒業生に対し、各学校の校長・学長を通じ、本会会長及び公益財団法人産業教育振興中央会会長の表彰状の交付及び授与を行った。

○東京都産業教育振興会会長表彰

中学校	941名	中等教育学校（前期課程）	12名	
高等学校	192名	専修学校	100名	
高専・短大	14名			計 1,259名

○公益財団法人産業教育振興中央会会長の表彰

高等学校及び高等専門学校	計 106名
--------------	--------

(6) 後援事業：産業教育の普及向上に寄与する事業を実施する団体等に対して、本会の後援名義の使用を承認した。本年度は7事業に対して後援名義の使用を承認した。

(7) 教員海外産業教育事情研修：公益財団法人産業教育振興中央会主催の令和6年度教員海外産業教育事情研修（ベトナム社会主義共和国、7日間）に教員1名が参加した。

6 産学連携事業

(1) 第3回葛飾区産業教育懇談会の開催

○日 時 5月10日（金）15時～19時

○場 所 テクノプラザかつしか

○内 容 「葛飾区の産業人材を育成するにはどうすればよいか」をテーマに全体会Ⅰ・分科会・全体会Ⅱを開催

○参加者 企業25名、高校10名、専修学校1名、中学校15名、行政・団体13名 計64名

(2) 「西多摩で働く人材を育てる産学連携事業」の実施

○連絡協議会（第1回）の開催

日 時 8月6日（火）15時～16時30分

場 所 福生市商工会扶桑会館

内 容 事業の再確認、各校・各商工会等における産学連携の情報交換

参加者 あきる野商工会、福生市商工会、羽村市商工会、瑞穂町商工会、日の出町商工会、青梅商工会議所、東京都産業教育振興会、都立五日市高等学校、都立秋留台高等学校、都立多摩高等学校、都立瑞穂農芸高等学校、都立青梅総合高等学校、都立羽村高等学校、都立福生高等学校

○連絡協議会（第2回）の開催

日 時 令和7年3月7日（金）15時～16時30分

場 所 福生市商工会扶桑会館

内 容 各校における産学連携の情報交換、来年度の連携事業についての意見交換

参加者 あきる野商工会、福生市商工会、羽村市商工会、瑞穂町商工会、日の出町商工会、青梅商工会議所、東京都産業教育振興会、都立秋留台高等学校、都立多摩高等学校、都立青梅総合高等学校、都立羽村高等学校、都立福生高等学校

(3) 都内工業・商業高校等の進路指導教員と東京商工会議所会員企業との交流会の開催

○主 催 東京商工会議所

○協 力 東京都産業教育振興会

○後 援 東京都教育委員会

○第1回

日 時 令和6年5月16日（金）13時30分～16時35分

場 所 リファレンス国際ビル貸会議室

参加者 企業119社119名、高校19校23名

○第2回

日 時 令和6年11月26日（火）14時45分～17時45分

場 所 TKPガーデンシティPREMIUM東京駅日本橋

参加者 企業103社103名、高校17校26名

(4) 第1回大田区産業教育懇談会の開催

○主催 東京都産業教育振興会

○協力 大田区、大田区教育委員会、東京都教育委員会、一般社団法人大田工業連合会、一般社団法人大田CP21

○日時 令和7年3月13日(木) 14時45分～16時45分

○場所 大田区立池上会館2階集会室

○内容 「大田区の産業人材を育成するにはどうすればよいか」をテーマに全体会を開催

○発表 ①大田区産業経済部産業振興課、②大田区立出雲小学校、③大田区立大森第三中学校、④都立六郷工科高等学校、⑤都立つばさ総合高等学校、⑥東京実業高等学校

○参加者 学校13名、行政10名、団体9名 計32名

7 産学交流事業

(1) 令和6年度産学懇談会(第1回)の実施

7月4日(木) 14時～17時 都立赤羽北桜高等学校

参加者29名

(2) 令和6年度産学懇談会(第2回)の実施

9月13日(金) 午前・午後 都立大島海洋国際高等学校 実習船「大島丸」。

参加者34名。

(3) 令和6年度産学懇談会(第3回)の実施

12月5日(木) 14時～17時 日本工学院専門学校

参加者28名

8 情報連絡事業

(1) 会報「東京の産業と教育」

① 第166号を7月30日に発行した。

② 第167号を1月24日に発行した。

(2) 会誌「東京の産業教育」第62号を3月1日に発行した。

(3) 「明日に生きる 第35号 一作文コンクール入選作品集」を3月1日に発行した。

(4) 第34回全国産業教育フェア栃木大会10月26日(土)～10月27日(日)

本会から西澤会長、事務局長、事務局員2名及び都立芝商業高等学校、都立忍岡高等学校、都立赤羽北桜高等学校、都立新宿山吹高等学校、都立園芸高等学校、愛国高等学校が参加した。

(5) 第66回全国産業教育振興大会(栃木大会)10月26日(土) 15:30-17:00

本会から西澤会長、事務局員1名が参加した。

(6) ホームページの更新

ホームページの更新は原則として毎月1回行った。

9 会員増加運動の推進

入会	学校会員	都の北学園	4月1日
	個人会員	鈴木光俊氏	4月3日
	学校会員	大島町立第二中学校	4月15日
	個人会員	並木修氏	6月3日
	産業界会員	青梅商工会議所	10月1日
	学校会員	アルファ医療福祉専門学校	10月23日
	学校会員	白梅学園短期大学	11月7日

10 広報活動の推進

会報電子版を6回発行した。

53号 6月14日、54号 7月26日、55号 8月26日、56号 11月7日、57号 1月24日、58号 3月19日